

まちの話題



ISA City Topics



南三陸町へ義援金



大口小学校の児童が「被災地の復興に役立ててほしい」と、今年も義援金を集めました。

大口小学校では震災発生後から寄附を続けており、今では総務委員会とボランティア委員会の児童がチラシを作成したり、各教室を回って呼び掛けて義援金を集めています。

3月17日、代表の児童2人が市長に義援金を手渡しました。この義援金は、市を通じて被災地に届けられます。

車椅子寄贈



さくら会館株式会社が市へ車椅子1台を寄贈してくださいました。さくら会館株式会社からの車椅子の寄贈は、昨年に続き2台目です。新留取締役は「こういった取組みは続けて行くことが大切と思い、今年も寄贈しました」と話されました。

寄贈された車椅子は市役所菱刈庁舎に置いて活用します。

3年生の卒業公演

3月25日、伊佐市文化会館でチームちむどんの初公演が行われました。

チームちむどんは活動開始から今年で3年目を迎えます。今回は当初から活動している高校3年生の卒業公演ということもあり、会場はおよそ870人の観客でほぼ満員の状態でした。

現代版組踊「【START】熊本地震チャリティー公演 in 伊佐『いま伊佐に芽吹く次世代の息吹』」はチームちむどんとSMI-LINK、福島県の「チーム息吹」から星香さんが出演し、東日本大震災に関連した舞台を力強い踊りとともに披露しました。特別出演で、和-なごみ-のお二人がオープニングアクトとして3曲披露し、Riseyuさんと風街かおりさんが現代版組踊にあわせ歌と演奏を披露しました。

この公演のチケット収入の一部と公演終了後に募った募金は、熊本地震義援金と東日本大震災ふくしまこども寄附金として寄附されました。



転入教職員着任式



4月4日、菱刈環境改善センターで転入教職員着任式が行われました。

16小中学校に着任した60人は、「寒さに負けず、熱い気持ちで教育に励みたい」など伊佐の印象や抱負を交えて自己紹介しました。

森教育長があいさつした後、教職員を代表して今年度新規採用の植村悟教諭（大口小）が宣誓書を読み上げました。

皆さんにはJA北さつまと大口酒造(株)から伊佐米とワンカップタイプの焼酎が贈られました。

ランドセルカバー贈呈式



この春、市内小学校に入学した児童に、市と伊佐地区交通安全協会、伊佐地区安全運転管理協議会からランドセルカバーと帽子が贈呈されました。

4月5日の贈呈式に出席した5人（大口保育園卒園児）は、「交通ルールをきちんと守って小学校に通います」と元気に宣言しました。

交通事故ゼロをめざして



春の全国交通安全運動が4月6日から15日まで行われました。

6日の出発式の後まごし館前で街頭キャンペーンが行われ、運転者にチラシや反射材を配って交通安全を呼びかけました。

また、14日のタイヨー大口店前で行われた「伊佐人の波作戦」には各コミュニティや企業など21団体、約300人が参加し、交通事故ゼロを呼びかけました。

春の共進会



4月7日、菱刈花北の旧伊佐家畜市場で伊佐市春季畜産共進会が開催されました。

今年は、5年に1度開催される全国大会の1次予選も兼ねており、総勢72頭の雌牛が

3つの部門で体つきや品位などを競いました。各部門の上位者は次のとおりです。（敬称略）

第1部 橋本鶴雄「はなてんま」号

北山憲一「ゆりな」号

森下聡一郎「ともこ」号

有木富士美「ゆりえ」号

第2部 川原和牛牧場(株)「だいな」号

島田省悟「はるみ」号

大山一義「ひめこ3」号

成雌区 小園博信「あゆみ」号

永田秀信「さくら」号

瀬戸口和雄「かりん」号

(株)小北農場「かつあかり」号

椋山博幸「なつふく」号

曾我修二「いちふじ」号